

No.創出-4-1	植栽種選定における防火・耐火性の配慮
-----------	--------------------

技術の目的			
植栽に防火・耐火性のある樹種を選定することで、発災時における延焼防止など災害の軽減を図る。			
導入する局面	創出	維持管理	利活用
適用空間	水域	陸域	

技術の内容・事例

■技術の内容

1. 災害時における植栽の効果^{出典1}

・災害時における植栽の効果としては以下のようなものが考えられる。

家屋など火災の延焼防止	公園に隣接する家屋の火災延焼防止など小規模な植栽、樹木でも状況により火災延焼防止効果が期待できる。
避難広場内の安全性の向上	広場などにおける熱風や旋風の発生、影響軽減効果が期待できる。
倒壊被害の軽減	家屋やブロック塀の倒壊、及び構造物などによる被害の軽減や避難路、避難等スペースの安全性向上に効果がある。
避難生活の支援	避難時や一時的な避難生活などのテントや空間利用などの支援、緑陰として活用できる。
ランドマーク	周辺建物の消失などの場合、位置確認のための目印となる。
心理効果	不安な心理状況が予想される災害時などにおいて、安心感などの効果が期待できる。

2. 防火力の高い樹種^{出典1}

- ・防火力の高い樹種を植栽することによって、発災時に延焼防止などの効果を発揮することができる。
- ・防火力の高い樹種としては下表のような樹種があげられる。
- ・常緑樹種は防火力の大きいものが多い。
- ・葉肉の厚い植物は一般的に防火力が大きい。
- ・材質に樹脂を多く含む針葉樹のスギやマツ類は防火力が小さく、延焼の危険性が高い。
- ・タケ類やササ類は、枝葉に着火しやすく延焼の危険性が高い。

表 防火力の大きい植栽樹種の例

分類	樹種
常緑広葉樹	イヌツゲ、キツタ、クチナシ、ゴムノキ、サザンカ、サンゴジュ、ジンチョウゲ、タラヨウ、ツバキ、トウネズミモチ、トベラ、ヒイラギ、モチノキ、ヤツデ
落葉広葉樹	イチョウ、エンジュ、オニグルミ、コナラ、シンジュ、スズカケノキ、トウカエデ、ユリノキ

■出典・参考資料

- ・1 国土技術政策総合研究所資料「防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン（改訂第2版）」（平成29（2017）年9月）

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0984.htm>

